

## タイヤ交換の仕方

自動車のタイヤ交換をする場合は、自動車の取扱説明書やタイヤホイールの取扱説明書をよくお読みになり、その指示に従ってください。

### ■安全を確認しましょう。

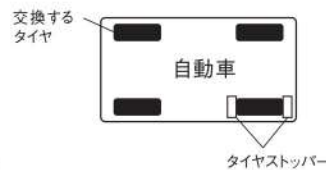
十分に周囲が安全であること、平らな場所であることを確認して行いましょう。

### ■タイヤ交換に必要な工具を確認しましょう。

1. 軍手・作業用手袋
2. ジャッキ
3. ジャッキ用補助工具(ジャッキを伸縮させるのに使用)
4. L型ボックスレンチ(クロスレンチがあると便利です。)
5. タイヤストッパー

### ■タイヤストッパーをセットします。

自動車を平坦で安全な所に止めます。  
AT車の場合はシフトレバーを必ず「P」にします。  
エンジンを止め、パーキングブレーキをしっかりとかけます。  
交換するタイヤの対角にあるタイヤにタイヤストッパーをセットします。



### ■ジャッキをセットし、少しだけジャッキアップします。

ジャッキアップポイントを確認し、ジャッキをセットします。  
タイヤが地面から離れない程度に軽くジャッキアップします。  
(ナットをはずす際に空転しないようにするためです。)

**△ 注意** 車種や締め付け状態によりインパクトレンチでゆるまない時があります。その際はホイールナットレンチなどを用いて、手でゆるめてください。

### ■ホイールカバーをはずし、ホイールナットを緩めます。

ホイールカバーが装着されている場合は、はずしてください。インパクトレンチでナットを軽く緩めます。(まだ、ナットははずさないようにしましょう。)

### ■ジャッキアップし、タイヤをはずします。

タイヤが地面から完全に離れるまでジャッキアップします。  
インパクトレンチでナットをはずし、タイヤをはずします。

ホイールナットの締める(ゆるめる)順番

### ■スペアタイヤを装着し、ナットを軽く締めます。

スペアタイヤを装着し、ホイールナットを手で軽く締めてからインパクトレンチが打撃を始めない程度まで締めます。  
その際、対角線上にナットを締めていくのがポイントです。



ホイールナットが  
4個の場合

ホイールナットが  
5個の場合

### ■ジャッキをおろして、ナットを完全に締めます。

ジャッキをおろしたら、インパクトレンチでナットを増し締めします。  
この時も必ず対角線上にだんだん締めていきましょう。  
最後にタイヤストッパーをはずして完了です。

### △ 注意

- インパクトレンチでの締め付けは、仮締めまでとし、最後は必ず、ホイールナットレンチ等を用いて、車種にあった規定の締め付けトルクで、確実に締め付けを行ってください。  
インパクトレンチは任意にトルクを調節することができませんので、締めすぎたり、締め付け不足が起る可能性があります。
- ホイールナットの過度の締め付けは、ボルトの破損やネジ山の破損を起こします。また、締め付けが不足の場合は、走行中にナットがはずれ重大な事故につながる場合があります。
- インパクトレンチを過度に押し付けて使用するとソケットの先端部分とホイールがこすれて、ホイールやソケットを傷つけてしまう場合がありますのでご注意ください。
- アルミホイールによっては、付属のインパクトソケットが使用できないことがあります。無理に使用するとアルミホイールナット内面等にキズ、損傷が発生しますので、あらかじめ先にホイールナット部に付属のソケットを手で差し込んで確認してください。

170428